

仙台市地域公共交通計画 ～施策の取組み状況について～

取組施策一覧（全40取組）

⇒本資料では取組施策一覧の内、令和6年度に新たに実施したものなど代表的な取組を報告

公共交通の基本方針	個別施策	取組内容	エリア		区間			実施計画 策定予定
			みんなで 支える路線 バスエリア	みんなで育む 多様な交通 確保エリア	バス幹線	バス準幹線	フィーダー	
1.公共交通軸の形成・機能強化 2.路線バスの利便性向上	①バス幹線区間・準幹線区間における利便性向上策の実施	1) バス幹線区間及び準幹線区間における事業者間調整	●		●	●		●
		2) バス待ち環境の整備	●		●	●		
		3) 走行環境等の整備	●		●	●		
	②フィーダー区間における利便性向上策の実施	1) フィーダー区間の事業者間調整	●				●	●
		2) 乗り換えに関する情報提供の改善	●				●	
		3) 乗り換え時刻表の掲示	●				●	
		4) バス待ち環境の整備	●				●	
	③既存鉄道の機能強化	1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施	●					
		2) 泉中央駅周辺における交通環境改善策の検討	●					
3.地域交通の維持・確保・充実	④地域が主体となった移動手段の確保・充実	1) 地域の実情に合った移動手段の確保		●				●
		2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施		●				●
		3) 地域交通を利用しやすい運賃施策等の検討・実施		●				●
	⑤地域交通と路線バス等をつなぐ交通結節点整備	1) 地域交通結節点整備		●				●
		2) 医療施設や商業施設等と連携した乗り継ぎ停留所の設置		●				●
4.都心回遊交通の強化	⑥公共交通を利用した都心の回遊の促進	1) 都心部における均一運賃制度の検討・実施	●					
		2) 均一運賃制度の更なる利用促進	●					
		3) 公共交通を利用した回遊のあり方検討	●					●
5.公共交通のシームレス化・利用促進等	⑦自動運転等新技術の活用	1) 自動運転等新技術の活用	●					
	⑧バス待ち環境整備	1) スマートバス停の導入	●					
		2) バス待ち環境の整備	●					
	⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善	1) 公共交通の情報提供の改善	●	●				●
		2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善	●					
		3) 路線バスの共通ナンバリングの導入検討	●	●				●
	⑩運賃施策等による公共交通利用の促進	1) 一日乗車券等の実施	●	●				
		2) 新たな運賃・乗車券制度の検討	●	●				●
		3) 公共交通利用者の優遇策の検討	●	●				
	⑪キャッシュレス決済の利活用の促進	1) ICカード乗車券の利用・導入の促進	●	●				
		2) キャッシュレス決済の検討	●	●				
		3) ICカード乗車券の更なる利便性向上の検討	●	●				
	⑫駅やバス・地下鉄車両等のバリアフリー化	1) 鉄道駅バリアフリー化の推進	●					
		2) 誰にでも使いやすい移動車両等の導入	●	●				
	⑬モビリティ・マネジメント等の推進	1) 住民モビリティ・マネジメント	●					●
		2) 転入者モビリティ・マネジメント	●	●				
		3) 学生・生徒モビリティ・マネジメント	●	●				
		4) 公共交通利用促進イベントの開催	●	●				
		5) 小学生への公共交通に関する学習の実施	●	●				
		6) パーク&ライド等の推進	●					
	⑭MaaSの推進	1) MaaSの推進	●	●				
	⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備	1) 来訪者向け公共交通施策の実施	●					●
		2) 来訪者向け交通手段の利用促進	●	●				

評価指標

目標・基本方針	評価指標（案）	頻度	現況値	目標値 (R8（2026）年度末時点）
【目標】 市民との協働により、地域の実情に合った、誰もが利用しやすい質の高い公共交通を持続的に確保し、自由に移動ができる生活の実現とまちなかの賑わい向上をめざします。	・公共交通利用者満足度	毎年	JR・地下鉄 80.2% 路線バス 53.3% 地域交通 86.5% (令和3（2021）年度末)	JR・地下鉄 83.2% 路線バス 56.3% 地域交通 89.5%
	・JR 在来線／地下鉄利用者数	毎年	JR 76 百万人 地下鉄 91 百万人 (令和元（2019）年度末)	JR 76 百万人 (現況値までの回復) 地下鉄 100 百万人
	・市内を運行する路線バス事業者の営業収支比率	毎年	・公営交通 67.9% ・民間交通事業者 83.9% (令和元（2019）年度末)	・公営交通 71.7% ・民間事業者 経営の健全化
【基本方針1】 公共交通軸の形成・機能強化	・バス幹線区間、バス準幹線区間、フィーダー区間を運行するバスの利用者数	毎年	47 百万人 (令和元（2019）年度末)	47 百万人 (現況値までの回復)
	・市内を運行する路線バス事業者の路線バスの1便あたり利用者数	毎年	27.4 人／便 (令和元（2019）年度末)	27.4 人／便 (現況値までの回復)
【基本方針2】 路線バスの利便性向上	・実施計画の策定及び実施	毎年	—	実施計画の策定及び実施
【基本方針3】 地域交通の維持・確保・充実	・地域との意見交換実施地区数	毎年	10 地区 (令和3（2021）年度末)	15 地区
	・地域交通の導入地区数	毎年	4 地区 (令和3（2021）年度末)	10 地区
	・地域交通利用者数（試験運行等を含む）	毎年	8,428 人（2 地区） (令和元（2019）年度末)	19,710 人
【基本方針4】 都心回遊交通の強化	・都心部歩行者通行量	毎年	平日 40,062 人 休日 49,007 人 (令和元（2019）年度末)	平日 45,000 人 休日 55,000 人
	・都心における公共交通利用者数	毎年	164 万人 (令和元（2019）年度末)	164 万人 (現況値までの回復)
【基本方針5】 公共交通のシームレス化・利用促進	・せんだい市バス・地下鉄アクセスナビ件数	毎年	19 百万件 (令和元（2019）年度末)	19 百万件 (現況値までの回復)
	・キャッシュレス決済乗車券利用率（路線バス）	毎年	91.8% (令和元（2019）年度末)	95.0%
	・低床バス（ノンステップバス）の導入率	毎年	75.4% (令和元（2019）年度末)	96.0%

効果を与える評価指標

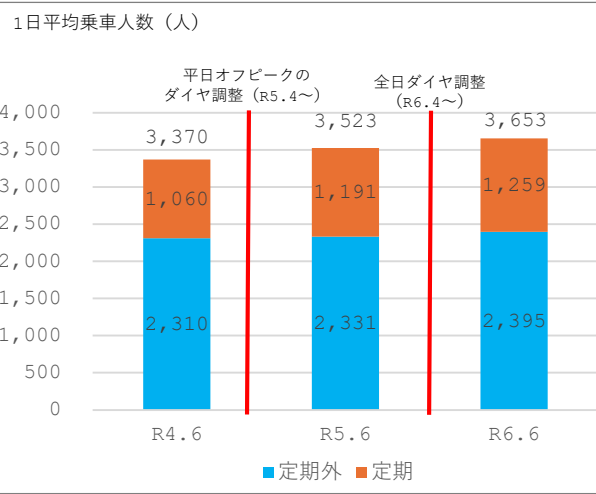
【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】

- ①バス幹線・準幹線区間における利便性向上策の実施
 - 1) バス幹線区間及びバス準幹線区間における事業者間調整
- ⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善
 - 1) 公共交通の情報提供の改善

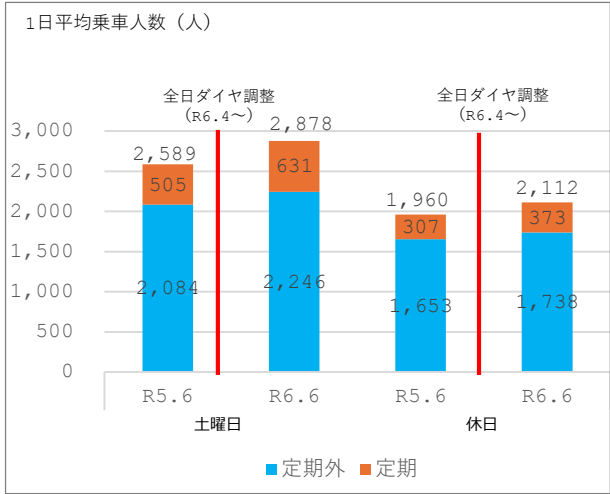
【八木山ラインのダイヤ調整】

- ・運行事業者: 仙台市交通局、宮城交通株式会社
- ・運行時間: 土休日を含む全日
- ・実施内容: 最大待ち時間の短縮及びパターン化された利用しやすいダイヤ設定

平日



土休日



1日平均乗車人員



【公共交通ネットワーク図】



【ポケット時刻表】

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針 1】	【基本方針 2】	【基本方針 3】	【基本方針 4】	【基本方針 5】
	●	●	●			
令和 7 年度以降の予定	➤ 八木山ラインの利用促進に向けた周知広報を実施する					

- ①バス幹線・準幹線区間における利便性向上策の実施
- ②フィーダー区間における利便性向上策の実施
- ⑧バス待ち環境整備

① 2) ② 4) ⑧ 2) バス待ち環境の整備

【広告付き上屋及びバス停上屋の整備・修繕】

交通局、宮城交通株が広告付き上屋及びバス停上屋の 整備・修繕を実施。

- ◆ 広告付き上屋 11箇所
- ◆ バス停上屋 交 通 局:2箇所(整備:1 修繕:1)
宮城交通株:4箇所(整備:2 修繕:2)



広告付き上屋



バス停上屋

取組内容

効果を与える 評価指標	【目標】	【基本方針 1】	【基本方針 2】	【基本方針 3】	【基本方針 4】	【基本方針 5】
	●	●				
令和 7 年度 以降の予定	▶ 継続してバス停上屋等の整備・修繕を実施する					



③既存鉄道の機能強化

1) 仙台駅における乗り換え利便性向上策の実施

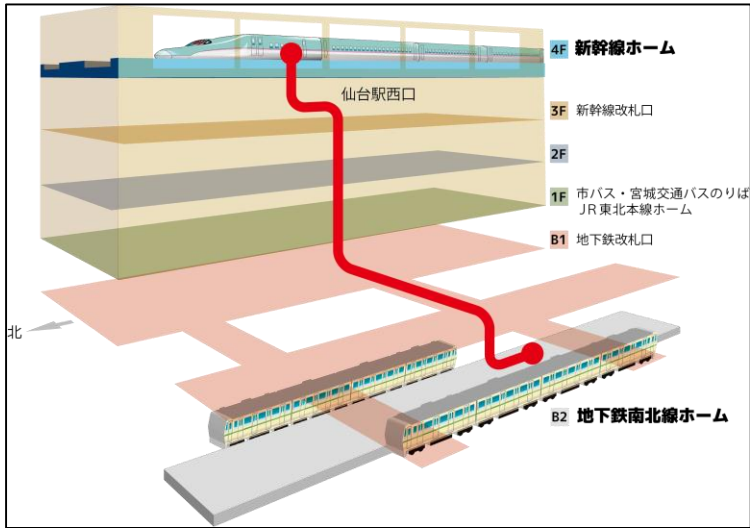
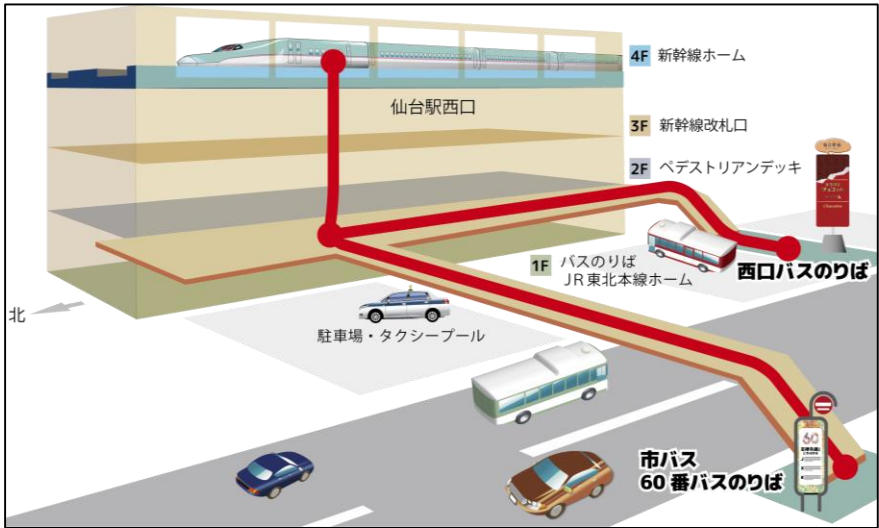
⑨公共交通の情報提供や案内誘導の改善

2) 駅等交通結節点における案内誘導の改善

取組内容

【仙台駅乗り継ぎ案内動画作成】

仙台市の玄関口である、仙台駅は、JR・地下鉄・路線バスや商業施設等が複雑に繋がっており、「移動の乗り継ぎ等が分かりづらい」との声。これまで作成してきた、初めて仙台駅をご利用される方でも分かりやすい「乗り継ぎ案内動画」の中から、新幹線中央改札から仙台駅西口バス乗り場（まちなり「チョコット」、60番乗り場）へのルートや地下鉄南北線ホームへのルートの外国人来訪者向け（英語版）を作成。



仙台駅乗り継ぎ案内動画経路（イメージ）

効果を与える
評価指標

【目標】



【基本方針 1】



【基本方針 2】

【基本方針 3】

【基本方針 4】

【基本方針 5】

令和 7 年度
以降の予定

➤ 継続して乗継動画を作成する

④地域が主体となった移動手段の確保・充実

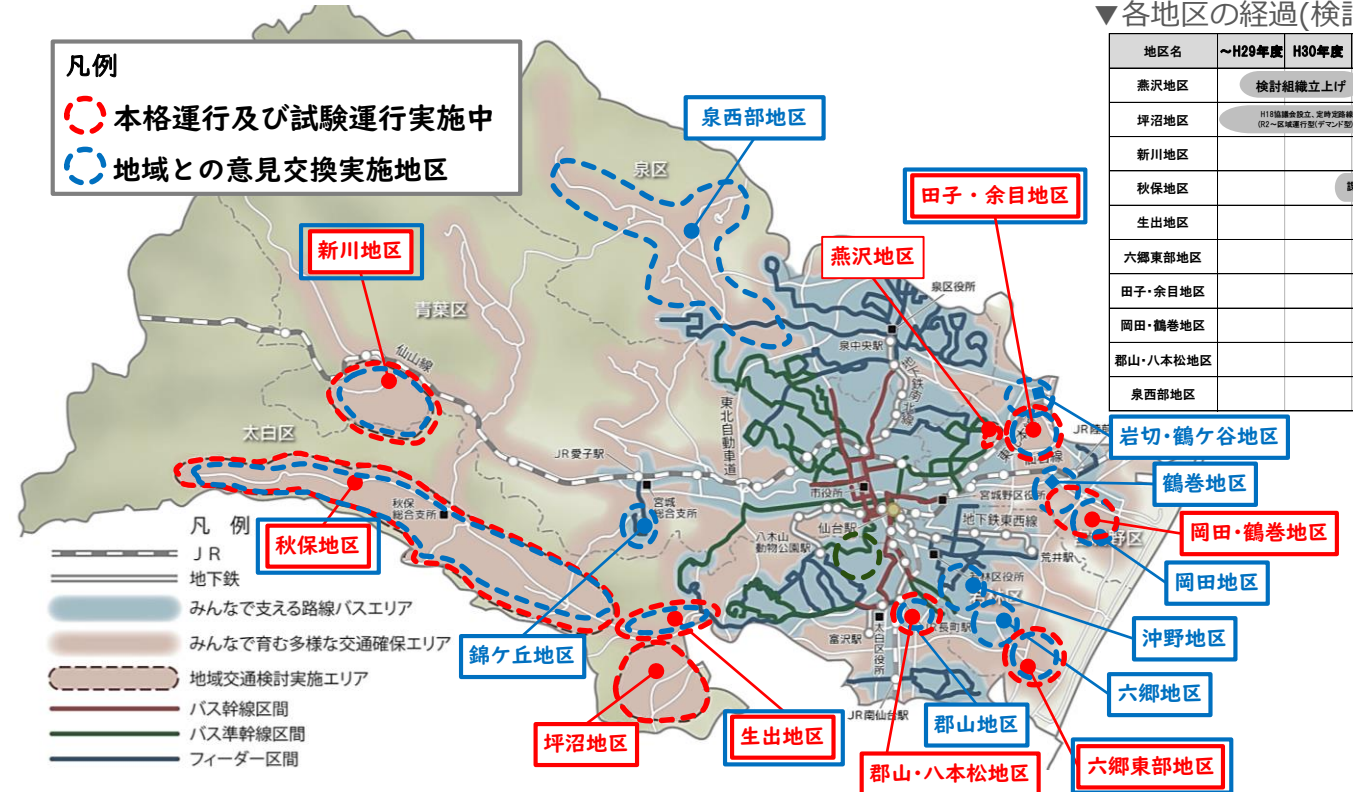
- 1) 地域の実情に合った移動手段の確保
- 2) 地域の移動手段確保について考える意見交換会の実施



取組内容

【地域との意見交換及び地域交通の導入】（令和7年3月末時点）

- ◆ 地域交通の導入地区数：9地区
- ◆ 地域との意見交換実施地区数：13地区（導入地区を含む累計）



地区名	～H29年度	H30年度	H31年度・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
燕沢地区	検討組織立上げ	試験運行等						本格運行
坪沼地区	H18協議会設立、定時定路線型運行(R2～区域運行型(デマンド型)へ変更)				試験運行等			本格運行
新川地区			課題整理	検討組織立上げ	試験運行等			本格運行
秋保地区			課題整理	検討組織立上げ	試験運行等			本格運行
生田地区				課題整理	検討組織立上げ	試験運行等		
六郷東部地区					課題整理	検討組織立上げ	試験運行	
田子・余目地区					課題整理	検討組織立上げ	試験運行	
岡田・鶴巻地区					課題整理	検討組織立上げ	試験運行	
郡山・八本松地区					課題整理	検討組織立上げ	試験運行	
泉西部地区					課題整理			検討組織立上げ

- 【凡例】
- : 課題整理、検討組織立上げ等
 - : 試験運行等
 - : 本格運行

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
令和7年度以降の予定	●			●		
	➢ 継続して地域との意見交換を行い地域主体の移動手段の確保に取り組む ➢ 地域交通導入地区については運行の維持に向けた取り組み支援を実施する					

⑦自動運転等新技術の活用を検討

1) 自動運転等新技術の活用を検討

取組内容

【青葉山グリーン回遊プロジェクト】

- ・協力事業者：パシフィックコンサルタンツ株式会社、A-Drive株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、宮城交通株式会社
- ・調査日時：令和6年10月20～22、25～27日の6日間
- ・実施内容：青葉山エリアにおいてEVバスによる自動運転レベル2（部分自動運転）の運行実験を行い、急カーブ、急勾配における車両挙動等の技術的課題の把握、利用者アンケートによるニーズや自動運転に対する受容性等の確認を実施。



EVバス



運行ルート

仙台城跡方面						
停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便
国際センター駅	9:00	10:00	11:00	13:30	14:30	15:30
仙臺緑彩館	9:10	10:10	11:10	13:40	14:40	15:40
仙台城跡	9:20	10:20	11:20	13:50	14:50	15:50

国際センター駅方面						
停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便
仙台城跡	9:30	10:30	11:30	14:00	15:00	16:00
仙臺緑彩館	9:40	10:40	11:40	14:10	15:10	16:10
国際センター駅	9:50	10:50	11:50	14:20	15:20	16:20

運行ダイヤ

効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
令和7年度以降の予定	●					
➤ 今回の調査結果をもとに、自動運転サービス実証実験及び社会実装を目指していく						

⑩運賃施策等による公共交通利用の促進

2) 新たな運賃・乗車券制度の検討

【新たな学生フリーパス制度「せんだいバスFREE+」】

- ・学生が宮城交通と仙台市交通局の路線バスを、通学に加えて買い物、アルバイト等、自由に乗り放題となる通学定期券
- ・令和6年10月1日より利用開始
- ・約9,400枚販売(令和7年2月末現在)
- ・宮城学院女子大学、宮城大学、尚絨学院大学の学生が多い



【市バス地下鉄・こども割り!「ハッピー・ファミリー・ライド」】

- ・実施事業者: 仙台市交通局
- ・実施期間: 令和6年4月27日(土)～29日(月・祝)、5月3日(金・祝)～6日(月・祝)、9月14日(土)～12月1日(日)
- ・実施内容: 対象路線(市バス、地下鉄南北線、地下鉄東西線)を大人同伴で利用する小学生の運賃を2名分まで無料 ※楽天シャトルバス、るーぷる仙台を除く

取組内容



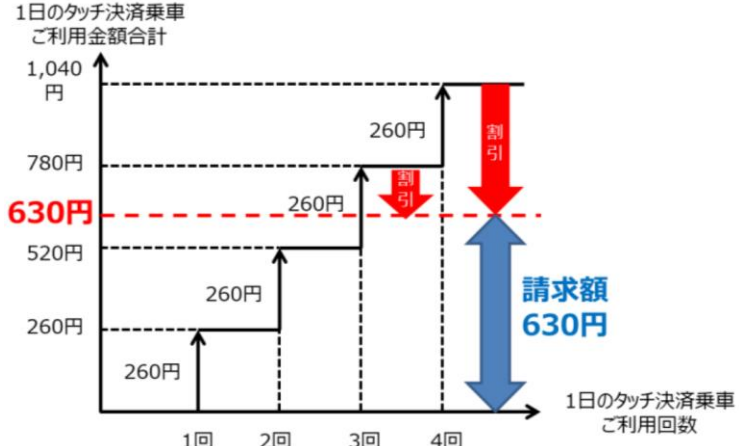
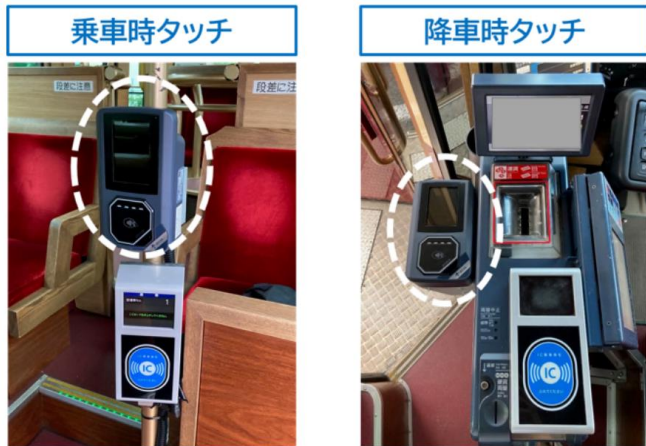
効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針1】	【基本方針2】	【基本方針3】	【基本方針4】	【基本方針5】
	●	●				●
令和7年度以降の予定	➢ 「せんだいバスFREE+」は継続して取り組みを実施するとともに、令和7年度には効果分析を実施する ➢ 「ハッピー・ファミリー・ライド」は令和7年度にも実証実験を実施する					

- ⑪キャッシュレス決済の利活用の促進
 - 2) キャッシュレス決済の検討
- ⑮旅行者等が移動しやすい環境の整備
 - 1) 来訪者向け公共交通施策の実施

【「るーぷる仙台」におけるタッチ決済による乗車サービスの実証実験】

- ・連携事業者：仙台市交通局、三井住友カード株式会社、株式会社ジェーシービー、株式会社七十七カード、レシップ株式会社、QUADRAC株式会社
- ・実施期間：令和6年10月1日～令和8年3月31日
- ・実施内容：東北の自治体で初となるタッチ決済機能のあるカード（クレジット、デビット、プリペイド）やカードを設定したスマートフォンなどを乗車時・降車時に専用端末にタッチすることで運賃を決済可能とする乗車サービスを提供する実証実験を実施。あわせて、一定額利用を超えると乗車運賃が割引される『上限運賃適用サービス』の効果検証も行う。

取組内容



効果を与える評価指標	【目標】	【基本方針 1】	【基本方針 2】	【基本方針 3】	【基本方針 4】	【基本方針 5】
	●					●

令和7年度以降の予定

➤ 今回の実証実験の利用実績などを踏まえ、本格導入の可能性を検討する

⑬モビリティ・マネジメント等の推進

1) 住民モビリティ・マネジメント

【バス乗車体験の実施】

- ・八木山ラインでの取り組みの周辺小学校となる八木山小学校の児童と保護者を対象としたバス乗車体験を実施し、バスに対する意識変容を目的とし、バスの乗り方や降り方等の体験を行った
- ・17名の児童と14名の保護者が参加し、体験後のアンケートでは多くの児童が「バスでお出かけしたい」を選択した



全体説明



乗り方体験



降り方体験

- ・上記取組の他、路線バス沿線地域において、地域主催のイベント等で、模型を使った公共交通利用の模擬体験等を行った

効果を与える 評価指標	【目標】	【基本方針 1】	【基本方針 2】	【基本方針 3】	【基本方針 4】	【基本方針 5】
	●	●				●
令和 7 年度 以降の予定	➤ 継続的な取組を実施する					

⑭ M a a S の推進

1) MaaSの推進

取組内容

【ポケモンGOフェスト・東北絆まつり時間券】

- ・ポケモンGOフェスト・東北絆まつりと連携し、地下鉄時間券(24時間/36時間)を販売
- 【販売実績】ポケモンGOフェスト:5, 431枚
東北絆まつり:1, 688枚

【仙台MaaSデジタルマップの活用】

- ・仙台七夕まつりや定禅寺ジャズフェス等のイベントと連携し、デジタルマップに情報を掲載
- ・デジタルスタンプラリーの実施



効果を与える 評価指標	【目標】	【基本方針 1】	【基本方針 2】	【基本方針 3】	【基本方針 4】	【基本方針 5】
	●	●				●
令和7年度 以降の予定	➤ 更なるコンテンツの充実を図るとともに、市民の認知度向上に努める					